

キャラクター名  
緋咲 未来

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ブラム=ストーカー		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	吸血	初期侵食率	34	%
出自	義理の両親	経験	仲間の死	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	17
感覚	4	1	3			8	(非装備時)	17
精神	1	0	0			1	戦闘移動	22
社会	1	0	0			1	全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ	射撃	8r+6		Lv+4		ハンドレッドガンズ使用後シーンの間持続
(3+5+6+7)	射撃	8r+6		[Lv+4][Lv+4][Lv+4]		80%以上

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
制服	
アクセサリ	
携帯電話	
カジュアル	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 噂好きの友人	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
義理の親	P 純愛	N 不安		
死んだ親友	P 幸福感	N 悔悟		
御影 瑛太	P 友情	N 嫉妬		
桐生 嚙矢	P 純愛	N 憎悪		
未定 創	P 慕情	N 不信感		
霧谷 雄吾	P 慕情	N 恐怖		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV(下限値7)								
不死者の恩寵	1	2	クリンナップ	至近	自身	自動	-	
効果: HPを[(LV)D+肉体]点回復								
ハンドレッドガンズ	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーンの間武器を作成し、装備する								
赫き弾	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた射撃攻撃の攻撃力+[LV*2]								
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80%	
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV*4]								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生まれながらにしてのオーヴァードであり、無意識に能力を使用していたため気味悪がられ生みの親に捨てられた。その後UGNに引き取られチルドレンとして過ごすことになる。  
7歳のころにエージェントに引き取られ比較的普通の生活を送ることができた。自分を引き取って本当の家族のように接してくれている2人にはいつか恩を返したいと思っている。  
引き取られてからしばらくは何事もなく過ごしていたが、とある任務で大失敗をしてしまう。その際に親友が自分を庇い死亡してしまう。なんとか撤退はできたもののその際の事を負い目に感じている。  
それ以来彼女は自分以外の人が傷つけられることがない様にジャームと戦っているが、こんなことをしても親友を死なせてしまった罪が消えることはないと思っている。  
弾に血を込めて打つことから"深紅の弾丸"のコードネームが付けられているがそれを嫌っているのが基本的には名前と呼ばれている。  
敷島あやめとは片手で数えるほどしかあったことがないが親近感を覚えている。きっと彼女とは仲良くなれるだろうと思っているがなかなか会う機会がないため仕事以外の話をしたことがない。  
性格は前向きで人懐っこい。そのため人からは好印象を持たれやすいため学校での交友関係は広い。

容姿は童顔で肩甲骨あたりまで伸びたロングヘア。サイドに一束空色のメッシュが入っているがこれは親友を死なせてしまったことに対する戒めの意を込めて彼女の髪と同じ色を入れている。